

JFEいちいち基礎工法

コンパクトな基礎の実現のため、鋼管柱と杭頭鋼管を一体化させる基礎工法です。



JFE

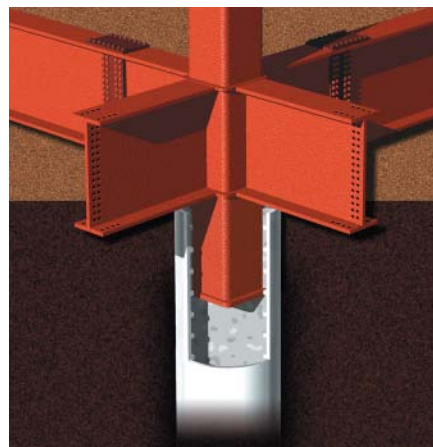
JFE スチール 株式会社

<http://www.jfe-steel.co.jp/kenzai/>

いちいち基礎工法は、フーチングを介して上部架構と杭を間接的に結合する従来工法と異なり、柱を杭頭鋼管に直接埋め込み、両者を充填コンクリートにより一体化させる工法です。鉄筋コンクリート造基礎梁の代わりに鉄骨造基礎梁を使用します。

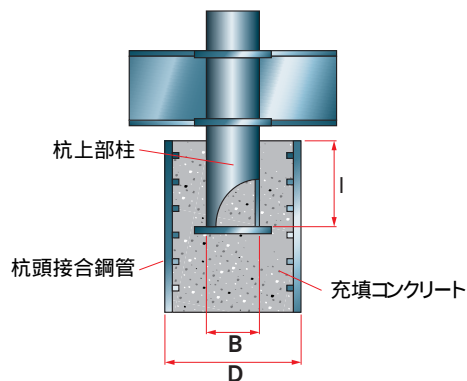
特長

- 1 上部架構と杭基礎の力の伝達が単純かつ明快であり、靱性に優れた接合部を実現します。
- 2 従来工法で必要であったフーチング・基礎梁築造のための掘削土量並びに基礎躯体数量の低減により工期短縮とコスト低減が図れます。
- 3 基礎梁せいの低減やフーチングの省略により建設排土を低減する環境にやさしい工法です。



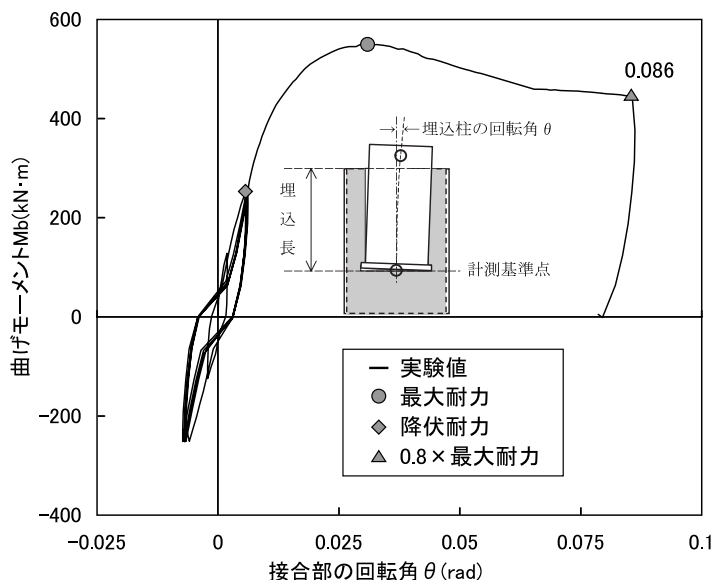
適用範囲

杭種別：鋼管杭、JFE-TB杭
杭頭接合鋼管：内面リブ付き鋼管、ズレ止めリング付き鋼管
杭頭接合鋼管径 D：最大 2000mm
杭上部柱断面形状：角形、円形
杭上部柱径 B：最大 800mm, 800mm
埋込長/杭上部柱径 (l/B)：1.5 (2.0) 以上
杭頭接合鋼管がズレ止めリング付き鋼管で杭上部柱が角形断面の場合



構造性能

柱 - 杭接合部は、杭上部柱の埋込長を柱径の1.5倍以上とすることにより、安定した履歴特性と高い変形性能が確保できることを実験により確認しています。



モーメント - 回転角関係

適用事例

